**第１６回有機化学物質研究会**

**土壌消毒技術の現状と今後**

**－「みどりの食料システム戦略」KPI2030目標達成に向けて－**

開催趣旨：

2021年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するために「みどりの食料システム戦略」が策定され、化学農薬使用量（リスク換算）を2030年までに10%低減、2050年までに50%低減という目標が掲げられた。目標達成には、農薬使用の効率化や代替技術の開発が求められている。今回は土壌消毒に焦点を当て、問題点や改善点等を整理・議論し、化学農薬使用量低減への貢献を目指した技術開発と普及を進めることを目的とする。

日時：　　　2024年1月11日（木）　13:30開始

場所：　　　つくば国際会議場（エポカルつくば、つくば市竹園2-20-3）中ホール200

主催：　　　農研機構　農業環境研究部門

参集範囲：　国立研究開発法人、公設試験研究機関、大学、企業、行政部局、民間企業 など

参加費：　　無料

プログラム

13:30－13:40　開会挨拶

農研機構　農業環境研究部門　山本勝利

13:40－14:00　みどりの食料システム戦略における化学農薬低減

農林水産省消費・安全局農産安全管理課　楠川雅史

14:00－14:20　我が国における土壌くん蒸剤クロルピクリンの使用の現状と安全使用啓発について

クロルピクリン工業会　新美達生

14:20－14:50　土壌病害診断AIアプリ「HeSo+（ヘソプラス）」の開発

農研機構　植物防疫部門　吉田重信

14:50－15:20　低濃度エタノールによる土壌還元消毒

農研機構　農業環境研究部門　堀田光生

15:20－15:40　休憩

15:40－16:10　合衆国における土壌消毒技術（Commercial Fumigation Issues in U.S.）

Steve Godbehere, TriEst Ag Group, Inc.

16:10－16:40　今後求められる土壌消毒に関連した技術

農研機構　農業環境研究部門　小原裕三

16:40－17:10　農薬のリスク換算とは何か？水生生物に対する生態リスクの事例

農研機構　農業環境研究部門　永井孝志

17:10－17:30　総合討論

17:30　　　 　閉会

その他：

・講演要旨は研究会開催前にホームページにアップロードします。準備ができましたら事務局からメールにてお知らせいたします。事務局では研究会会場にWi-fi環境を準備しませんので、事前にダウンロードをしてください。

・研究会終了後18：30より、つくばセンター付近にて情報交換会（5000円程度）を予定しています。情報交換会に参加される方は、研究会の参加登録時に情報交換会についても参加登録をお願いします。後日メールにて、参加登録された方々に情報交換会の詳細をお知らせいたします。

問い合わせ・事務局：　農業環境研究部門化学物質リスク研究領域有機化学物質グループ

清家伸康（電話　029-838-8329、メール seike@affrc.go.jp）